

平成30年度事業計画書

政府の平成30年度経済見通しは、海外経済の回復が続く下、「平成30年度の経済財政運営の基本的態度」に示された政策効果もあいまって、雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環が更に進展する中で民需を中心とした景気回復が見込まれ、実質GDP成長率は1.8%程度、名目GDP成長率は2.5%程度と見込んでいる。また、消費者物価（総合）は1.1%程度の上昇と見込んでいる。

なお、先行きのリスクとしては、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等に留意する必要があるとしている。

また、一般社団法人日本自動車工業会の平成30年度国内需要見通しでは、四輪自動車については、全体として緩やかな景気拡大が見込まれているものの、トラック・バスが排ガス規制強化の影響を受けることから、ほぼ前年度並みの5,175千台（前年度比0.3%減）と見込み、二輪自動車については、ニューモデル投入による需要増が見込まれるものの、規制への対応による影響もあり、前年度を下回り361千台（前年度比3.7%減）と見込んでいる。

当業界においては、地政学リスクや米国の景気動向など不安定要素は払拭されていないものの、世界的な景気拡大を背景として輸出の増加と国内景気の緩やかな回復基調が継続するとの見方により、主要需要先である自動車の国内需要や輸出の増加に期待感があること、雇用・所得環境の改善に伴い個人消費等も前年度を上回る伸びが見込まれていること等から、ダイカストの年間生産量は前年度を上回る水準で推移するものと見込まれる。

このような背景の中で当協会の平成30年度事業は、ダイカスト業界の基盤強化・発展を目指して、体系的人材育成事業の推進や技術に関する調査研究の推進、標準類の整備、環境保全と安全な職場環境の確保等に向けた活動を展開する。具体的には、各委員会活動を通じて「新ダイカスト産業ビジョン」に基づく協会事業を実施するとともに、支部中小企業部会の事業を更に発展させることを目指して具体的活動を継続し、併せて、隔年に実施している日本ダイカスト会議・展示会の企画・運営を拡充強化する。

また、新たな取り組みとして、鑄造性（湯流れ性）評価方法に関する調査研究、ダイカスト用アルミニウム合金の溶湯清浄度評価方法（Kモールド法）JIS原案作成、亜鉛合金ダイカストの高靱性化鑄造プロセスに関する調査研究及び耐熱性・難燃性を有したマグネシウム合金ダイカストに関する調査研究を開始する。

さらに、外部情報の会員への発信、会員相互間の交流促進、各委員会事業の実施、各種統計の整備、研究開発、亜鉛合金ダイカスト品質証明制度、表彰制度などを継続して実施し、また、関係官庁・関係団体に対する協力等を継続して実施する。

1. 企画運営委員会

- (1) 平成30年度委員会事業報告・決算（見込）の検討
- (2) 平成31年度委員会事業計画・予算（案）の検討
- (3) 平成31年度協会事業計画・予算（案）の検討
- (4) 今後の協会事業のあり方に関する討議

1-1 ダイカスト産業ビジョン推進部会

- (1) 新ダイカスト産業ビジョンの普及・啓発
- (2) 新ダイカスト産業ビジョンの実施担当委員会・部会における取組状況のフォローアップ

1-2 会費改正・支部費検討部会

- (1) 賛助会員新会費規程の検討

2. 経営委員会

- (1) 2018年度受注動向調査の検討
- (2) 経営講演会の企画・実施（東京・名古屋）
- (3) 経営アンケートの実施

2-1 需要予測部会

- (1) 2018年度受注動向調査の集計結果の検討、発信
- (2) 2019年度受注動向調査のアンケート内容の検討

2-2 取引編部会

- (1) 素形材産業取引ガイドラインの普及
- (2) 取引適正化に向けた自主行動計画の着実な推進とフォローアップ
- (3) 型管理アクションプランの着実な推進とフォローアップ
- (4) 素形材産業取引ガイドライン改訂版ほかの印刷・配布

3. 中小企業委員会

- (1) 国の中小企業施策及び協会事業の周知・啓発
- (2) 健全な取引のための関係法令の周知
- (3) 中小企業会員の課題について協会へ提言
- (4) 必要に応じてアンケート調査等の実施

3-1 展示検討部会

- (1) 2018ダイカスト展示会における協会ブース中小企業コーナーの企画展示

4. 環境・安全委員会

- (1) DCNet-EMSの運営
- (2) ダイカスト工場の労働災害統計調査及び報告
- (3) エネルギー使用量及び廃棄物排出量アンケート調査の実施
- (4) 「新ダイカスト産業ビジョン」環境保全活動へのフォローアップ
- (5) 環境保全セミナーの企画・実施

4-1 安全作業標準作成部会

- (1) 「ダイカスト工場の安全・衛生マニュアル」に係る講習会の企画・実施、及び同マニュアル簡易版等の作成に向けた検討

5. 日本ダイカスト会議・展示会運営委員会

- (1) 2018日本ダイカスト会議・展示会の企画・運営

5-1 ダイカスト会議部会

- (1) 2018ダイカスト会議の企画・運営

5-2 ダイカスト展示部会

- (1) 2018ダイカスト展示会の企画・運営
- (2) 協会ブースの企画・運営
- (3) 工場見学会の企画・運営

6. 国際委員会

- (1) 海外展示会などへの派遣検討と実施
- (2) 海外からの視察団及び海外業界団体への対応
- (3) 経済のグローバル化への対応

7. 広報委員会

- (1) 大学、工業高専、工業高校におけるダイカストの認知度向上に向けた広報活動の実施
- (2) 広報見学会の企画・実施（関東、中部、関西）
- (3) 協会ホームページの見直し・運営
- (4) 「ダイカストって何？」の改訂等広報パンフレットの充実

7-1 会報ダイカスト編集部会

- (1) 会報ダイカストの企画・編集及び原稿の校閲・校正

8. 研究開発委員会

- (1) 鋳造性（湯流れ性）評価方法に関する調査研究（新規）（公益目的実施事業）
- (2) ダイカスト技術交流会の企画・実施

9. 技術・技能者育成委員会

- (1) 技術アドバイザー制度の運営
- (2) 技術研修の企画・実施
 - ① 技術技能研修講座（東京）
 - ② ダイカスト技術セミナー
 - ③ 女子社員ダイカストセミナー
 - ④ スキルアップ研修
 - ⑤ 工学的知識講座
- (3) 「ダイカストの標準」ほか増刷

9-1 YDEC運営部会

- (1) YDECの企画・運営
- (2) YDEC技術講座（2回）

10. ダイカスト用アルミニウム合金委員会

- (1) Al-Mg系合金ダイカストの使いこなし及び製造技術向上に関する調査研究（パートⅡ）及び報告書作成（公益目的実施事業）
- (2) ダイカスト用アルミニウム合金の溶湯清浄度評価方法（Kモールド法）JIS原案作成（新規）（公益目的実施事業）

11. ダイカスト用亜鉛合金委員会

- (1) 急冷相変態を利用した亜鉛合金ダイカストの特性改善に関する調査研究報告書の作成（公益目的実施事業）
- (2) 亜鉛合金ダイカストの高靱性化鑄造プロセスに関する調査研究（新規）（公益目的実施事業）

12. マグネシウム合金ダイカスト委員会

- (1) 耐熱性・難燃性を有したマグネシウム合金ダイカストに関する調査研究（新規）（公益目的実施事業）

13. 亜鉛合金ダイカスト品質証明制度運営委員会

- (1) 品質証明制度の運営
- (2) 新規適用申請工場の審議
- (3) 品質証明制度10年経過工場表彰の実施
- (4) 依頼分析の実施

14. 小野田賞選考委員会

- (1) 小野田賞対象論文の選考

15. 浦上賞選考委員会

- (1) 浦上賞対象案件の選考

16. 菅野賞選考委員会

- (1) 菅野賞対象技能者の選考

17. 競争法コンプライアンス検討委員会

- (1) 競争法コンプライアンス規程に関する遵守状況の調査及び不適切な行為が判明した場合の再発防止策等の検討

18. 協会事務局業務

- (1) 統括、総務、技術、表彰関係委員会の運営

(2) 調査関係

- ① 経営アンケート調査
 - ② ダイカスト受注動向調査
 - ③ 会員の生産・販売状況調査
 - ④ エネルギー使用量等調査
 - ⑤ ダイカスト作業の労働災害調査
 - ⑥ 経済産業省関係諸統計の収集
 - ⑦ ダイカストに関する内外統計の収集
 - ⑧ 内外の市場調査及び文献、資料の収集
 - ⑨ 技術関係の調査
- (3) 講演会、講習会、見学会、技術交流会及びY D E Cの開催
 - (4) 亜鉛合金ダイカスト品質証明制度の施行及び分析の実施
 - (5) 会報他刊行物の発行
 - (6) 「協会だより」の発行
 - (7) 協会ホームページの保守及び管理
 - (8) 支部会員と協会役員との懇談会の開催
 - (9) 会員との情報交換
 - (10) 生命共済制度（全国中小企業共済財団）の実施
 - (11) 国内、国外からの問い合わせ、依頼に対する対応及び処置
 - (12) 関連団体との協議及び共同事業の実施
 - (13) 新政策施行に基づく対応のための調査研究
 - (14) 関連官庁に対する具申、答申

19. 支部活動

- (1) 報告会並びに打合せ会の開催
- (2) 支部懇談会、懇親会の開催
- (3) 講演会、見学会の開催
- (4) 各種講習会の開催
- (5) 技能検定実技試験の受託実施
- (6) 技術その他資料の配付
- (7) 支部中小企業部会の運営

20. 平成30年度期首における会員数

| | | | | |
|------|-----|----|------|----|
| 期首入会 | 正会員 | 1社 | 賛助会員 | 4社 |
| 期首退会 | 正会員 | 0社 | 賛助会員 | 0社 |

平成30年度期首における会員数

| | | | | | |
|-----|------|------|------|----|------|
| 正会員 | 196社 | 賛助会員 | 186社 | 合計 | 382社 |
|-----|------|------|------|----|------|